

今月の ミ エ ル カ

“Mieruka” ~自己改革への挑戦~

Mieruka・・・“見える化” “見えていますか”

J A 種子屋久は、見える組織づくりに取り組んでいます。

地域営農ビジョン

部会との話し合いを通じて品目ごとの将来のビジョンを描くとともに、
個人面談による組合員の技術面・経営面のサポートを強化します。



青果用甘藷

生産面積 (h a)	5年後目標	590	現状	590
生産数量 (t)	5年後目標	10,967	現状	10,967
生産金額 (百万円)	5年後目標	1974	現状	1900

《課題》

- 1、生産者の高齢化
- 2、生産面積の減少
- 3、生産量の安定と品質の高位平準化を目的としたバイオ苗の普及
- 4、共販体制の構築

《基本戦略》

- 1、『法人化（大型農家育成）・担い手の育成』
- 2、バイオ苗の普及を推進（単収・品質向上）
- 3、県園芸振興協議会種子島支部や安納いもブランド推進本部を中心とした活動と連携
- 4、消費者への安心・安全な農産物の提供

スナップえんどう

生産面積 (h a)	5年後目標	29.60	現状	28.27
生産数量 (t)	5年後目標	485	現状	438
生産金額 (百万円)	5年後目標	340	現状	306

《課題》

- 1、気象災害等による不安定な生産量
- 2、栽培用地の確保
- 3、新規就農者および担い手農家の確保

《基本戦略》

- 1、地域の特性を把握した品目戦略
- 2、新規就農者・担い手農家の支援体制を確立し、個別指導を強化
- 3、信頼される産地づくりを目指す

水稻

生産面積 (h a)	5年後目標	747	現状	837
生産数量 (t)	5年後目標	3,122	現状	3,500
生産金額 (百万円)	5年後目標	572	現状	696

《課題》

- 1、消費の減衰・主食用米の需要が減少
- 2、高齢化により作付け面積減少
- 3、地力低下がすすみ低単収・品質低下

《基本戦略》

- 1、「需要に応じた米づくり」を実施
- 2、適期肥培管理と水管理並びに病害虫の適期防除の徹底により、単収・品質向上を図る
- 3、地力アップと収量・品質の安定化を図る



天秤座
9/23
～ 10/23

【全体運】 珍しく感情的になりやすいかも。深呼吸で心を静めて。趣味や好きなことを満喫する時間を持つとラッキー
【健康運】 運動不足になる暗示。体重増を招きがち
【幸運を呼ぶ食べ物】 のり

繁殖牛

共販農家数 (戸)	5年後目標 485	現状 530
母牛飼養頭数 (頭)	5年後目標 7,459	現状 7,370
出荷頭数 (頭)	5年後目標 5,702	現状 5,795

《課題》

- 1、生産基盤の維持・拡大
- 2、購買者ニーズにあった子牛商品性の向上
- 3、飼料高止まりによる厳しい経営環境
- 4、経営管理・指導体制の強化

《基本戦略》

- 1、出荷頭数を年間5,800頭と設定し、頭数確保に向けた産地育成に取り組む
- 2、営農指導体制の強化
 - ①指導員・事務職員の拡充
 - ②指導課の集約を行い、業務効率化を図る

さとうきび

共販農家数 (戸)	5年後目標 1,486	現状 1,915
生産面積 (ha)	5年後目標 2,690	現状 2,394
生産数量 (t)	5年後目標 193,200	現状 158,209

《課題》

- 1、高齢化、気象災害により生産量が安定しないことから、面積・生産量・生産者数が減少
- 2、農地は空いているが借り手が居ない
- 3、品種構成の見直しや新たな品種導入が必要
- 4、土壌が酸化し、地力が低下

《基本戦略》

- 1、離農者に対し、事業等の周知を図る
- 2、ハーベスタ収穫に適した品種の研究・導入
- 3、各事業を活用し、土壌改良を行い地力回復を図る
- 4、経営・技術指導サポートを行う

JAの自己改革に関する組合員アンケート実施について

JAでは、現在取り組んでいる自己改革に対する評価をお伺いして、より一層、組合員の皆さまの期待に応え、魅力ある地域の農業や暮らしを支えるJAとなれるよう組合員アンケートを実施することとなりました。

実施内容につきましては、下記のとおりですので、ご多用のところ誠に恐縮ではございますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

実施時期 平成30年2月

対象者 組合員1,500名
※無作為に抽出した組合員が対象となります。

調査方法 個別訪問による調査の実施

